

# 資料提供招請状

## 政府調達

令和7年12月25日

競争参加資格者 殿

国立大学法人鳥取大学  
米子地区事務部 経理・調達課

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

### I. 導入の目的等

鳥取大学医学部附属病院では、令和2年1月に現行システムを導入している。現行システムは、令和8年をもって、計7カ年の稼働となり、ソフト・ハードウェアの老朽化、メーカー保守サポートの終了が懸念されている。

そこで、本調達においては、新たなシステムに更新することを検討している。

### II. 調達内容

(1) 物品名及び数量 **統合画像システム 一式**

(2) 調達方法 借入

(3) 納入場所 鳥取大学医学部附属病院

(4) 導入予定時期 令和8年度 第3四半期

(5) 資料等の提供期限及び提供先等

①**資料等の提供期限 令和8年1月15日（木）17：00（郵送は必着のこと。）**

②提供先並びに本件照会先

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地の1

国立大学法人鳥取大学 米子地区事務部経理・調達課 病院物流係 澤田

TEL 0859-38-7068 FAX 0859-38-7069

E-mail me-tokutei@adm.tottori-u.ac.jp

③提供先並びに本件照会先

- i. 資料等を提供する際には、組織の代表者名で、本件招請に対する応募の意思を明確に示す書面で提供すること。
- ii. 提供資料等に関する照会先を明記すること。
- iii. 提供資料等は日本語で11部提出すること。うち原本は1部とし、他は写しで可。

(6) 追加情報の照会先

追加情報の照会又は本説明書に関する問合せは、日本語文書により上記(5)②の「本件照会先」を行うこと。

#### (7) 設置条件

本院に設置してある一次側設備以外に必要な電源設備、空調設備及び給排水設備等工事があれば供給者において改修すること。

### Ⅲ. 基本的要求要件

#### (A) 業務支援・連携・リスク管理・効率化

新システム（統合画像情報システム：以下「本システム」）は、診療系・医事系と対等に連携し、画像の取得（Acquisition）－保存（Archiving）－配信（Distribution）－表示／読影（Viewing）－解析（Advanced Visualization）－二次利用（教育・研究・地域連携）を中核として本院の診療・運営を総合的に支援すること。

地域完結型医療に資するため、紹介元／連携医療機関・行政機関等との安全な画像・所見共有（CD レス運用）に対応し、患者安全を確保するリスク管理（患者 ID 取り違え防止、線量情報の可視化、読影優先度制御、監査証跡）および業務効率化（前回画像プリフェッチ、ルールベース自動ルーティング、ハンギングプロトコル標準化、重複検査抑制、バーコード／QR によるメディア管理）等の機能を有すること。

#### (B) ガイドライン適合・開示・監査

本システムは、情報開示・事故調査・外部評価等に必要な機能（全文検索、版管理（PR/SR/レポート履歴）、監査ログ、証跡出力）を備え、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第 6.0 版）」に適合すること。アクセス制御、操作履歴／監査証跡、暗号化（転送・保存）、バックアップ／リストア、停止時運用（ダウンタイム参照・臨時出力手順）を備えること。

#### (C) 構成

コア（PACS/VNA）機能：DICOM 準拠（C-STORE/C-FIND/C-MOVE/C-GET）、DICOMweb（WADO-RS/QIDO-RS/STOW-RS）実装、IHE Radiology 主要プロファイル（SWF、PIR、AIR、XDS-I.b 等）対応。

ストレージ階層（高速キャッシュ／メイン／アーカイブ）と ILM（情報ライフサイクル管理）、スタンディ重複検知、プリフェッチ、ルールベース自動ルーティング。

線量管理：RDSR 取り込み・装置別／検査別の線量可視化。

ビューワ：

診断用：ハンギングプロトコル、前回比較、MPR/CPR/VR、計測、PR（Presentation State）／SR 表示、キービュー、モニタ校正対応。

参照用：ゼロフットプリント、モバイル／院外閲覧（権限・有効期限・透かし）。

高度解析（例：SYNAPSE VINCENT）：

PACS→解析への送信ジョブ、解析結果の DICOM 戻し（SC/PR/SR/SEG）、セッション連携、GPU 最適化、ライセンス同時使用数管理。

RIS/EHR 連携：

MWL（Modality Worklist）／MPPS／UPS、音声認識レポート連携（HL7 ORU^R01/FHIR DiagnosticReport）、キャンセル・検査差替え、患者・検査マージ。

共通基盤：セキュリティ管理、ユーザビリティ支援、教育・研究支援、\*\*データウェアハウス／記録管理（レコードマネジメント）機能（アクセス・使用状況 KPI を含む）。

#### (D) 端末操作・双方向連携・再入力排除

画面設計・用語・ショートカットを統一し、救急・外来・病棟・読影室・カンファでの快適な作業環境を提供すること。関連サブシステム（EHR/RIS/紹介予約 等）と双方向連携し、患者属性・検査情報・所見を再入力なく活用できること。差戻し理由の記録、重複撮像警告

#### (E) 接続性・周辺機器・外部提出

現有モダリティ（CR/DR、CT、MR、US、XA/DSA、NM/PET、MG/DBT、内視鏡、病理画像 等）およびゲートウェイ、院内ポータル、プリンタ／CD-DVD/USB 発行装置、スキャン装置と院内ネットワークで連携・運用できること。院外・行政向けの電子交付は、受け手属性に応じた出力形式・暗号化・透かし・有効期限付与に対応すること。遠隔読影／VPN／TLS での安全接続を提供すること。

#### (F) 性能・可用性

実運用で遅延なく応答し、24 時間 365 日の連続稼働を志向する可用性を有すること。特に朝の撮像集中、救急連続取込、カンファ直前の一斉参照時にも実用レスポンスを維持すること。冗長構成（サーバ二重化、ストレージ冗長、ネットワーク多重化）と計画保守時のダウンタイム最小化、自動フェイルオーバーを実現すること。

（例の目標値：院内 LAN にて参照ビューワ初画表示 ≤ 3 秒、前回比較 ≤ 5 秒、同時接続 100 ユーザ時のスループット維持。数値は規模見積にて最終確定。）

#### (G) セキュリティ管理・障害対策・保守

役割基盤型アクセス制御（RBAC）、最小権限、多要素認証、院外アクセス制御、データ暗号化、改ざん検知、ウォーターマーク（参照用）を備えること。障害対策（フェイルオーバー、バックアップ／リカバリ、DR サイト）を有すること。ベンダは全体保守体制を確立し、インシデント対応、脆弱性パッチ適用、装置追加・プロトコル改訂・法令改定への迅速な反映を提供すること。ATNA 相当の監査ログを保存・出力できること。

#### (H) 技術情報・教育訓練・エビデンス

運用に必要な技術情報（DICOM 適合宣言、DICOMweb/IHE プロファイル、RIS/EHR インタフェース仕様、ハンギングプロトコル設計指針、VINCENT 連携仕様、線量 SR 取扱い 等）を提供すること。関係部門（放射線科・各診療科・医療情報部 等）への初期・更新トレーニングを実施し、監査・開示対応のためのエビデンス出力手順を整備すること。

#### (I) データ移行

現有 PACS/VNA に蓄積された DICOM データ（Study/Series/Instance、PR、SR、Key Image、動画、線量 RDSR）および関連メタデータ（患者・検査 ID・装置・撮影プロトコル・所見リンク 等）を新システムへ移行し、継続利用可能とすること。将来移行にも対応できるよう、データ辞書・エクスポート仕様・マッピング表を提供すること。本学が認めた第三者の関与を許容し、パイロット移行・対照検証（件数一致・ピクセル一致・UID 整合）・移行後監査を実施すること。VINCENT 等の解析派生物はトレーサビリティ（元画像とのリンク）を保持すること。

### IV. 落札方式の概要

今回の招請資料等を参考にして策定する「仕様書」を満たす提案をした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低価格を提示した入札者を契約の相手方とする。

### V. 提供招請する資料等

本調達案件に係る基本的要求要件に関して、以下の資料およびコメントを提供招請する。

- ① 提案書
- ② 提案書と同等システムの稼働実績に関する資料
- ③ カタログ

- ④ 公表された技術データ
- ⑤ 提案設備を使用しての研究発表の文献
- ⑥ 参考見積書
- ⑦ 価格表（または価格証明書）及び納入実績
- ⑧ 代理店証明書
- ⑨ 設置条件に関する資料
- ⑩ 納入に要する期間に関する資料
- ⑪ 消耗品、光熱水料に関する資料
- ⑫ 保守・障害支援体制に関する資料
- ⑬ その他必要と思われる資料

## **Ⅵ. その他**

提案各社に対し、必要に応じ、本提案資料の記載内容についてヒアリング等を行う場合がある。この場合において、提案各社は誠実に対応すること。

なお、本招請にかかる内容は予定であり、資料提供招請の結果、変更することがある。